

2001

# 一人住まいのための家具

Furniture for the Single Youth

AD01 青沼 リドゥアン  
指導教員 小西 均

## 1. 研究目的

よりよい暮らしができるように機能的な家具を製作する。

ワンルームで使用する小物のディスプレイとTVボード、コーナーラックの役割を可能とする家具を目標とする。

## 2. 調査と分析

市場の製品として可動式のコーナーラックで両側が開きテーブルになるという製品がある。はじめて一人暮らしをするととなると、今まで気にならなかったけれど身の回りのことを自分ですることに不安を感じる人もいる。

天然木は資源の枯渇により入手が困難になりつつある。結果的に合板、集成材等の木質素材の利用例が多い。さらに再生素材には再生木材など様々な素材が存在する。

再生材・再生素材についてどんな素材でどんな種類があるのかを調査。

## 3. コンセプトの立案

「狭い空間を有効利用した家具」

ワンルームのコーナー・ディスプレイ家具ということでコンセプトを立案する。

## 4. デザイン展開

家具の用途、ディスプレイラックの用途。

ディスプレイ家具の用途として衣類をいれるスペース、PCやTVを置き他には小物を置けるようなスペースを設ける。

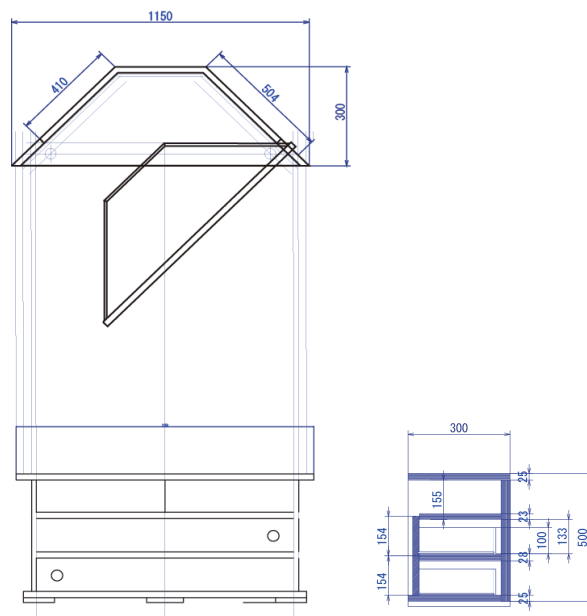


1:2 スケールモデル

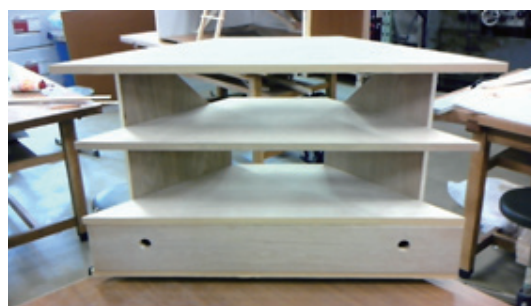
ベニヤ板一枚で設計可能な家具を製作してみた。コーナーラックの引き出しの部分は工夫して回

転させてみた。そして左右同じ要領で開くことができる設計となっている。

開く時に必要な取っ手の部分は、指だけで開くことが可能な穴を両側に開け左右どちらでも使用できるようになっている。



## 5. 完成図



## 6. 結論

3×6 ベニヤ板一枚でも様々な使い道があることがわかった。

一人暮らしの狭い部屋を有効利用するためにコーナー家具にTV台や棚や回転引き出しをセットしたが、結果的には全体のバランスも良く形的にもまとまったと思う。